

寺院資料学の沃野へ

小峯和明

近年、人文学退潮路線に抗して、文学、歴史、宗教、美術、民俗等々、諸領域の連携や相互乗り入れが急速に展開し、あらたな研究の地平を形作りつつある。とりわけめざましい分野の代表が諸寺院に所蔵される聖教、典籍文書類の悉皆調査にもとづく研究であろう。それらは単なる新出資料の紹介や特定ジャンルの枠内にとどまらず、前近代の学と知の全体像を浮き彫りにする総合的、体系的な方位に進展してきている。これらを総じて「寺院資料学」と名付けることができるが、従前は仁和寺や醍醐寺、高山寺、真福寺など国宝・重文クラスを擁する著名な大寺院ばかりが着目され、在地の中小の寺院は見のがされがちであった。

この度の寺院資料学叢書の企画は、殊に各地域の一般的にも知られていない寺院資料調査の積年の成果をふまえたもので、学僧達によって精魂傾けて記述され書きされ、刻印されたであろう、典籍文書類を一点ごとに丹念に地道に調査し、その価値を明らかにする、きわめて意欲的な試みである。埋もれていた資料に光を当てて今日に甦らせる営為、そこに学問研究の醍醐味もあり、まさに今後の研究の動向を大きく左右する力を持っている。本叢書の公刊によって、あらたな研究のステージがどのように拓かれていくか、大いなる期待を持って見守りたいと思う。

(立教大学名誉教授)

「寺院文献資料学の新展開」に期待する

末木文美士

昨年完結した「中世禅籍叢刊」は、主として真福寺所蔵本に称名寺所蔵本を併せる形で編集を進めたが、最後の段階になって、覚城院から「密宗超過仏祖決」の寂雲自筆写本が発見され、大騒ぎになった。寂雲は真福寺を創建した能信の師であり、その自筆本が真福寺から四国の覚城院に移った経緯もほぼ解明された。それによって当時の仏教者のネットワークの一端が明らかになった。同写本は、シリーズの最終巻の第十二巻に収められ、中山一麿氏、伊藤聡氏に解題を執筆していただいた。今回、その覚城院聖教の調査報告をはじめとして、従来知られていなかった多くの寺院資料が紹介され、その研究状況が明らかになることは、きわめて大きな意義のあることである。また、本シリーズには近世仏教資料の巻が設けられているのも嬉しいことである。近世資料は中世資料に比べて価値の低いものと考えられ、ほとんど研究されないまま多くの寺院に死蔵されている。新安流の浄厳は近世仏教の中でもっと高く評価される必要があるだろう。また、神道の玉水流も近世資料が主ということ、これまでほとんど知られていなかった。今後近世仏教史が大きく書き換えられる第一歩になるものと、いまから胸を躍らせている。

(国際日本文化研究センター名誉教授)

寺院文献資料学の 新展開 全十二巻

第1巻 覚城院資料の調査と研究 I

第4巻 安住院資料の調査と研究

第5巻 中四国諸寺院 I

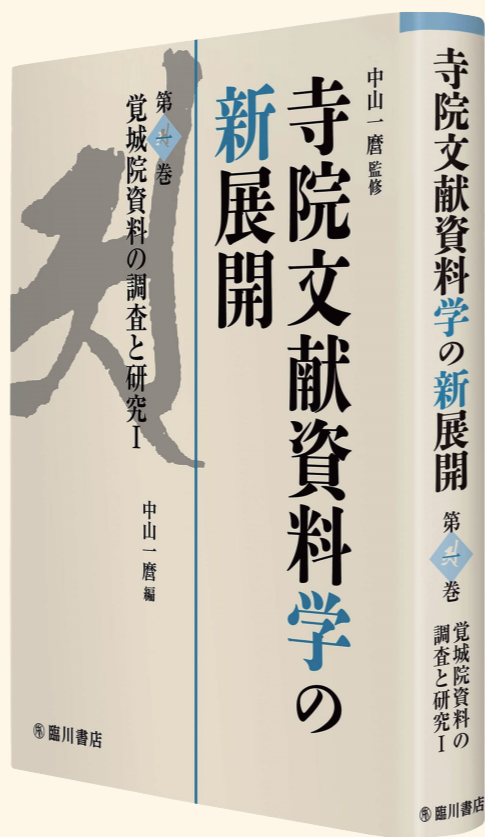
第9巻 近世仏教資料の諸相 II

第10巻 神道資料の調査と研究 I

神道灌頂玉水流と西福寺

2022年秋刊予定

- 税込19,800円 (18,000円+税)
- 税込26,000円 (26,000円+税)
- 税込19,800円 (18,000円+税)
- 税込24,200円 (22,000円+税)
- 税込26,400円 (24,000円+税)



中央の主要寺院との関わりの中で注目される地方寺院の悉皆調査の成果を、論文および資料翻刻・解題により横断的に紹介。寺院間ネットワークの実態を明らかにする。

- 各巻予価 税込19,800円(本体18,000円+税)
- 菊判・上製・ク口入表紙カバー装・平均500頁
- ISBN978-4-653-04540-3(ヤマト) C3315

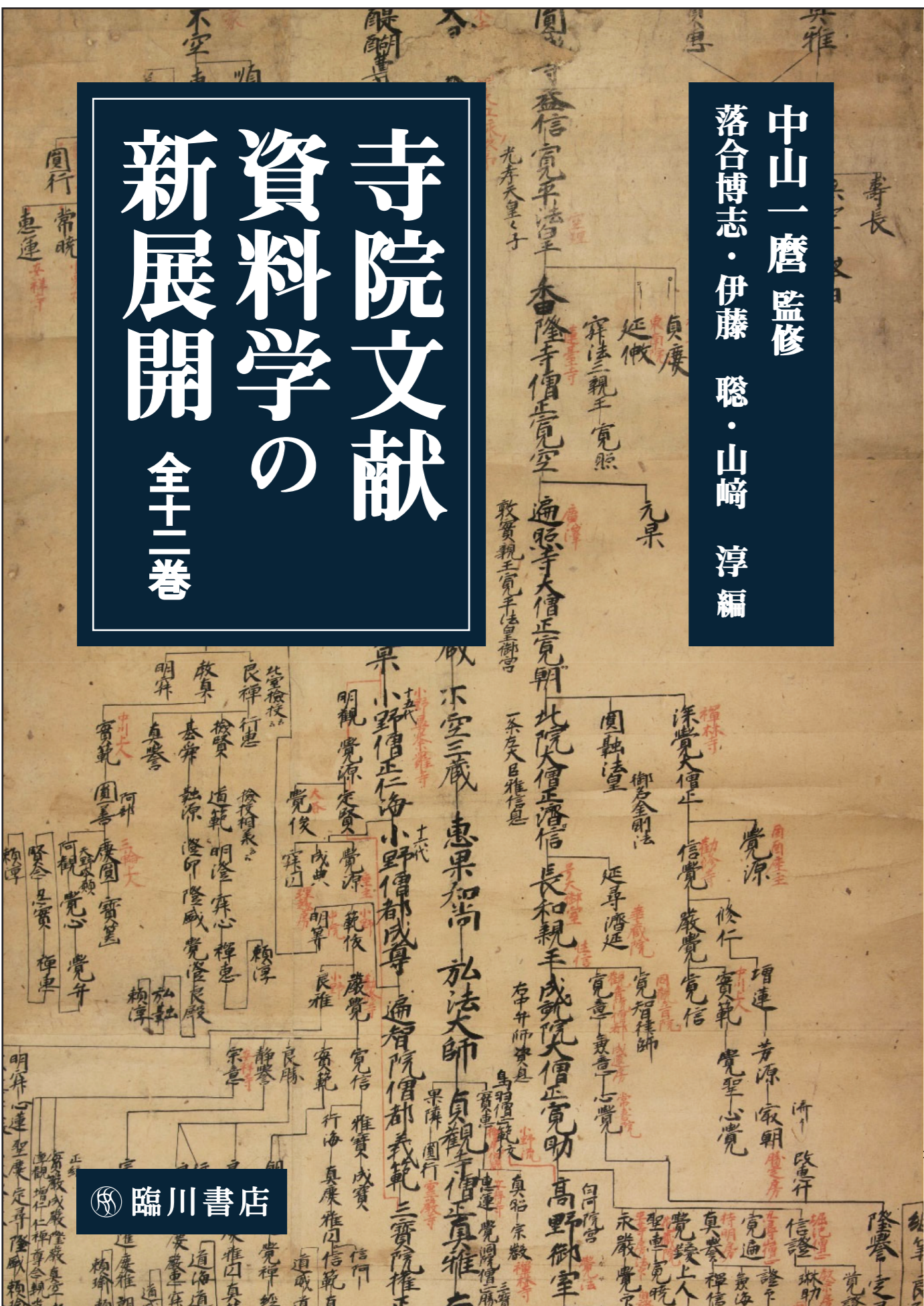
*お近くの書店または小社までご注文ください

株式会社 臨川書店

〒606-8204京都市左京区田中下柳町8番地 ☎075-721-7111 FAX075(781)6168
E-mail kyoto@rinsen.com URL http://www.rinsen.com

中山一麿 監修
落合博志・伊藤 聡・山崎 淳 編

寺院文献
資料学の
新展開 全十二巻



「寺院文献資料学の新展開」刊行にあたって

監修者 中山一麿・編集委員 落合博志・伊藤 聡
山崎 淳

この度、臨川書店から新企画の出版に関する打診を受けて、「寺院文献資料学の新展開」と総称する全12巻のシリーズ本を企画する運びとなりました。

本叢書の目指すところは、重畳する人文系諸学の閉塞感を打破すべく広がりをもせる新資料学、その宝庫として注目されている寺院経蔵の調査を基盤とした成果を、より身近に発信していく事にあります。寺院経蔵調査に関する報告は、一部の有名寺院での調査報告が世代を跨いで継続的に行われる一方で、その他の寺院に関しては調査自体が十分に成されていない、または報告が極めて限られているというのが実状と言えるでしょう。

しかしながら、これらの寺院にも人知れず注目に値する文化遺産が眠っている事は決して珍しくありません。また、価値の如何に関わらず地道に一点一点の調査を続ける事で明らかになる研究成果も多いと思います。奇しくも監修者・編集委員が主導して調査を実施している寺院を合わせると現在10カ寺近くあり、それらの寺院での悉皆的調査が可能な状況にあります。本叢書はそのような研究をひとつのシリーズに収める事で、単発で終わりがちな資料研究を「モノ・人・場・時間」を繋ぐ「相関的文化学」として体現させる事を目的としています。

本叢書の成否は、今後の人文系諸学にとって地方寺院での聖教悉皆調査がどの程度受け入れられ、これまで積み上げてきた成果が継承されるかを計る試金石になると思います。何卒本叢書の趣旨をご理解いただき、格別のご支援を賜りますよう、ここに伏してお願ひ申し上げます。

寺院文献資料学の展開 全12巻 構成

第1巻	覚城院資料の調査と研究Ⅰ	中山一麿編	第1回配本	税込19800円
第2巻	覚城院資料の調査と研究Ⅱ	中山一麿編	第6回配本	
第3巻	覚城院資料の調査と研究Ⅲ	中山一麿編	第11回配本	
第4巻	安住院資料の調査と研究	中山一麿編	第5回配本	税込28000円
第5巻	中四国諸寺院Ⅰ	落合博志編	第2回配本	税込19800円
第6巻	中四国諸寺院Ⅱ	中山一麿・山崎 淳編	第9回配本	
第7巻	中四国諸寺院Ⅲ	落合博志編	第12回配本	
第8巻	近世仏教資料の諸相Ⅰ	山崎 淳編	第7回配本	
第9巻	近世仏教資料の諸相Ⅱ	山崎 淳編	第3回配本	税込24200円
第10巻	神道資料の調査と研究Ⅰ	伊藤 聡編	第4回配本	税込26400円
第11巻	神道資料の調査と研究Ⅱ	伊藤 聡編	第8回配本	
第12巻	諸寺稀観書集	落合博志・伊藤 聡編	第10回配本	

寺院経蔵調査の成果を踏まえた新発見・新出文献を中心とした「論文篇」ならびに「資料紹介」(翻刻・解題)で各巻の内容を構成する。

◆第5巻 中四国諸寺院Ⅰより



図4-5 善通寺蔵「内作集 金剛王院 第十一品内」(土蔵23-29-3)「金剛王院 実賢勝導行相表」の内

「論文篇」本文刷見本 版面実寸より約45%に縮小しています

Figure 4-5 shows a manuscript page from 'Shinshū' (Volume 5), featuring a diagram of a human figure with various anatomical labels in Japanese characters. The diagram is titled '図4-5 善通寺蔵「内作集 金剛王院 第十一品内」(土蔵23-29-3)「金剛王院 実賢勝導行相表」の内'. The text surrounding the diagram is dense and written in a traditional Japanese style.

Figure 5-1 shows a manuscript page from 'Shinshū' (Volume 9), featuring a diagram of a human figure with various anatomical labels in Japanese characters. The diagram is titled '【寺院日記】 藤村'. The text surrounding the diagram is dense and written in a traditional Japanese style.

「資料紹介」本文刷見本 版面実寸より約50%に縮小しています

Figure 5-1 shows a manuscript page from 'Shinshū' (Volume 9), featuring a diagram of a human figure with various anatomical labels in Japanese characters. The diagram is titled '【寺院日記】 藤村'. The text surrounding the diagram is dense and written in a traditional Japanese style.

◆第9巻 近世仏教資料の諸相Ⅱより